

< がん哲学外来 > お茶の水メディカル・カフェ in Occ

新島 襄 生誕 170 周年記念

メディカル・カフェ

2013年 9月 21日(土)

時間：13:00～(開場 12:30)

会場：お茶の水クリスチャン・センター 8階チャペル

入場無料

※会場に自由献金箱が用意されています。
献金にご協力ください。

要申込み

※WebサイトまたはFAXにて。
必ずお申込みください。



新島 襄

< 司馬遼太郎講演集より >

「アメリカ留学の頃、卒業した彼が、アメリカ東部のあるプロテスタント教会に通っていた教会で、説教をしたことがあった。『自分は日本をアメリカのような国にしたい。そのためには、日本に帰って、キリスト教精神に根ざした学校を作りたい。』と語ったそうです。すると、会衆は、彼のビジョンに答えて、目の前で募金が始まった。

最後に募金したひとりの農夫にいたっては、わずか2ドルだった。その農夫は汽車で一時間ほどかかる田舎から出て来た人であった。実は、彼がささげた2ドルは、帰りの汽車賃だった。帰りは歩くのだというのだ。こういう祈りと献金から同志社大学は始まり、今日がある。



樋野 興夫
順天堂大学医学部教授
NPO がん哲学外来理事

今年、山極勝三郎(1863-1930)生誕150周年・吉田富三(1903-1973)生誕110周年、新島襄(1843-1890)生誕170周年、新渡戸稲造(1862-1933)没80周年記念の年です。「先人の会話の立ち聞き」を旨とする「病理学者」としての、「社会をよく見て、「がん」から学んだものを生かす=社会性(ソシアリティ)」(新渡戸稲造)の心得でもあります。

最近、「新島襄→クラーク(1826-1886)→内村鑑三(1861-1930)・新渡戸稲造(1862-1933)→南原繁(1889-1974)・矢内原忠雄(1893-1961)→がん哲学の本流ですね!」との、心温かい、ニューモア感のある、激励のコメントをいただきました。大変、微笑ましく、なんとなく嬉しさが込み上げてきました。改めて、NHK大河ドラマ「八重の桜」の主人公 八重の夫：新島襄の「本流の源流の先見性」を静思したことでした。

ここに、新島襄生誕170周年記念 メディカル・カフェを企画することになりました。是非皆様お誘いあわせてご来会ください。お会いできることを楽しみにしています。樋野 興夫




総会司会：榎原 寛
ワット・ビジョン・ジャパン理事長
お茶の水クリスチャン・センター副理事長

※ 参加のお申込みは、
Web サイトまたはFAXにて。

Web サイト：
<http://ochanomizu.cc>

FAX：裏面に記入して、こちらにFAXください。

FAX：03-3296-1010

 **がん哲学外来**
Cancer Philosophy Clinic
お茶の水メディカル・カフェ
Ochanomizu Medical Cafe

主催：お茶の水クリスチャン・センター

〒101-0062 千代田区神田駿河台 2-1 OCC ビル Tel 03-3296-1001